



双方向同期型

©JAPAN POST Co., Ltd.
※ぼすくまは日本郵便のキャラクターです。



夏のおたよりの書き方 指導書

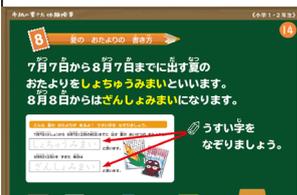
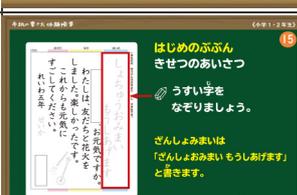


- | | |
|---------|--|
| 1. 対象学年 | 低学年 (1・2年生) |
| 2. 配当時間 | 1時間 *実態に応じて実施する。 |
| 3. ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ①夏のお便りの書き方について知る。 ②夏のお便りを書く練習をする。 ③実際にはがきに書き、投函する。 |



手紙の書き方体験授業

※オレンジ文字は双方向同期型の留意点です。

時間 (分)	発問・指示	留意点	画面
0~2	今日はこの「手紙の書き方 小学校1、2年生用」のテキストを使って、学習します。 そして、学習した後に、実際に夏のお便りを書いてみます。 テキスト、はがき、筆記用具を出しましょう。 使うものをたしかめていきます。 同じものを先生に見せてください。	Google Meet や Zoom で児童がミーティングに参加していることを確認する。 テキスト、はがき、筆記用具を確認する。	
2~5	画面の絵を見ましょう。 今年の夏、みなさんは何を楽しみたいですか。 虫とり、プール、おとまりなど… 他にもたくさんありますね。	2、3人指名して確認する。 児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。	
5~8	いろいろな夏のお便りが書かれています。 どんなお便りを書きたいですか。 はがきに書いて、伝えたい人に送りたいです。	夏のお便りを見て感想を言わせて、意欲をもたせるとよい。	
8~11	14 ページを開きます。開いたら先生に見せてください。 切手の8「夏のお便りの書き方」 7月7日から8月7日までに出す夏のお便りを「暑中見舞い」といいます。 8月8日からは「残暑見舞い」になります。 うすい字をなぞりましょう。 なぞれたら、先生に見せてください。	開けているか、画面で確認する。 書けているか、画面で確認する。 画面で確認する。	
10~13	ほかにもいろいろな夏のお便りがありますね。 だれにどんなお便りを送っていますか。 テキストのはがきを読んでみましょう。 QRコードから、ほかのお便りも見ることができます。	児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。 QRからの便りは、教師が紹介するとよい。	
13~15	あなたはどの絵をかきたいですか。 ○で囲みましょう。 QRコードから、ほかの絵を見ることができるよ。 QRの絵は教師が紹介してもよい。	○で囲んだことを画面で確認する。 どの絵を選んだか、発表させてもよい。 QRの絵は教師が紹介してもよい。	
15~16	15 ページ、しよちゅうみまいの書き方 はがきの裏の書き方を練習します。	開けているか、画面で確認する。	
16~19	はじめの部分は季節のあいさつを書きます。 「しよちゅうおみまいもうしあげます」のうすい字をなぞりましょう。 残暑見舞いは、「ざんしょおみまいもうしあげます」と書きます。	書けているか、画面で確認する。	

手紙の書き方体験授業

時間 (分)	発問・指示	留意点	画面
19~24	<p>中の部分は伝えたいこと書きます。</p> <p>楽しかったことやこれからやりたいことなどを書きます。</p> <p>□に相手の名前を書いて、続きを読みましょう。</p>	<p>児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。</p>	
24~26	<p>終わりの部分はこれからのことを書きます。</p> <p>赤い□の中を読みましょう。</p>	<p>児童の声が聞こえるか、ミュートになっていないかを確認する。</p>	
26~29	<p>最後に、書いた日や名前を書きます。</p> <p>うすい字をなぞりましょう。</p> <p>暑中見舞いには「せいか」、 残暑見舞いには「ばんか」と書きます。</p> <p>□の中に自分の名前を書きましょう。</p>	<p>書けているかどうか画面上で確認する。</p>	
29~40	<p>それでは、本物のはがきに夏のお便りを書いてみましょう。</p> <p>テキストを見ながら書き写してもいいですよ。</p> <p>空いたところに夏の絵を描くと、素敵なお便りになりますね。</p> <p>はがきの表の、宛名の書き方は</p> <p><1年生> テキストの6ページ、7ページに出ています。</p> <p><2年生> テキストの10ページ・11ページに出ています。</p> <p>書けたらポストに入れてやり取りを楽しみましょう。</p>	<p>書けない児童には、アドバイスし、書き写しの時間をとる。</p> <p>書けたかどうか画面上で確認する。</p> <p>授業の感想を交流させる。</p>	

はがきの表面『あて名の書き方』は「手紙の書き方」授業用コンテンツのページにありますのでそちらをご活用ください。